

ポケットガイド

ブロイラー屠体  
の判別 と  
格外コントロール



## ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール: はじめに

### はじめに

このポケットガイドの目的は、ブロイラーの処理成績を向上させることです。と体品質を向上させるために、農場と処理場で管理方法をどのように改善するのかについて、情報と手引を載せています。この小冊子に書かれた管理方法は、ブロイラーの生涯の全ステージと、トリが農場を出てから処理工程が終わるまで、鶏群の健康とウェルフェアを維持することと、衛生とトリの取り扱いの重要性に注意をしています。



ブロイラー屠体 の判別 と格外コントロール:  
炎症の進行/峰窩織炎



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
炎症の進行/峰窩織炎

原因：農場段階での引っ掻き傷	
解決策	コメント
過密飼育を避ける	国の法律によるガイドラインに従う
適正な給餌・飲水スペースを保つ	<p>直径 40 センチのラウンドドリンカー1 個当たり 125 羽、1 ニップル当たり 10～12 羽（重いブロイラーでは羽数を少なめに）</p> <p>パンフィーダー当たり 45～80 羽、給餌チェーン/オーガ羽当たり 2.5cm、チューブフィーダー38cmにつき 70 羽</p> <p>長時間の暗期 あるいは間欠給餌プログラム採用時は採食行動を注意して観察する</p>
トリの過度な活動を避ける	<p>光線プログラム使用時、実際の夜明けと夕暮れに似せるように調光する</p> <p>推奨照度の使用：7 日齢以降 5～10 ルクス</p>
捕鳥時はトリを平静に保つ	捕鳥中は鶏の過度な動きを減らすために照度を下げ、捕鳥作業者は十分な捕鳥訓練を受けさせる
トリはいつでも給餌器にアクセスできるようにする	決して給餌器を空にして回さないようにして、適切な給餌を行う

ブロイラー屠体 の判別 と格外コントロール：  
フット、(趾蹼) 皮膚炎/飛節炎

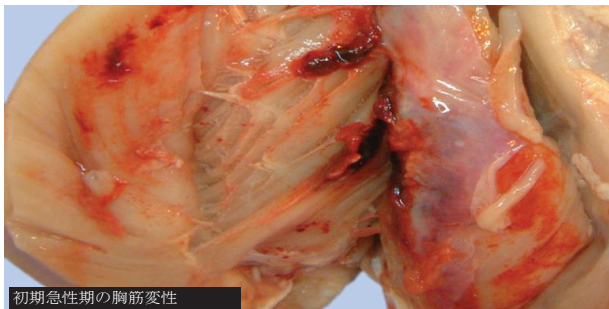


ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
フット、(趾蹠) 皮膚炎/飛節炎

原因：湿った敷料と長時間の休息による皮膚の腐食

解決策	コメント
良い敷料状態の維持	<p>舎内の生鳥総重量に応じた推奨換気管理/プログラムを実施</p> <p>適正な収容密度を保つ</p> <p>適正な給水器管理を実施：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニップルラインの適正な水圧</li> <li>・ 開放型飲水器の適正な水位</li> <li>・ 給水器の適正な高さ</li> <li>・ 良い給水器のメンテナンス</li> </ul>
栄養成分の改善/調整	<p>アンバランスな飼料は敷料悪化を引き起こすため、推奨ブロイラー栄養成分に従う</p> <p>適正な栄養成分になっていることを確認するため、飼料サンプルを分析する</p>
定期的、タイムリーな鶏群観察	<p>トリが良く活動しているか確かめ、床面から熱と水分を逃がすため、24時間の間に定期的（3回以上）に鶏群中をゆっくり歩く</p>

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
深胸筋変性（緑筋症）



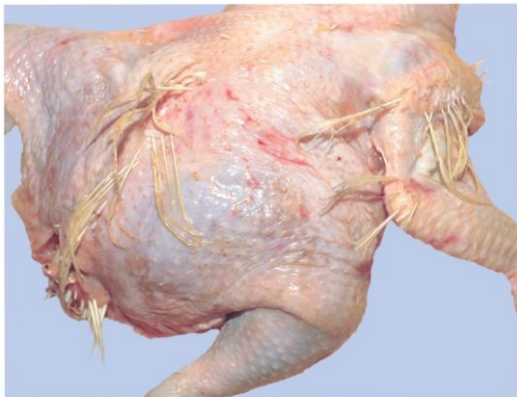


ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
深胸筋変性（緑筋症）

**原因：**壊死の引き金になる深胸筋の腫大による血流障害—通常は農場で起こるが、過度の羽ばたきによって、長距離輸送中にも起こる（緑筋の前に赤/紫筋）

解決策	コメント
過度のトリの活動を避ける	<p>光線プログラム使用時、夜明けと夕暮れに似せるように 調光する</p> <p>推奨照度の使用：7 日齢以降 5～10 ルクス</p> <p>捕鳥・体測時、トリの取り扱いについてスタッフの適切な訓練</p> <p>移動防止用フェンスの使用</p> <p>突然の騒音や増光を避け、鶏群間をゆっくり注意して歩く</p> <p>過度の羽ばたきを避ける</p>
捕鳥作業中、トリを平静に保つ	<p>トリの過度な行動を抑えるため</p> <p>捕鳥中は照度を下げる</p> <p>捕鳥作業者の十分な訓練</p> <p>過度な羽ばたきを避ける</p>

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
不十分な脱毛処理



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
不十分な脱毛処理

原因：脱毛機の調整不備、鶏群の斉一性の悪さ/現状の脱毛設定に対して不適切な鶏のサイズ	
解決策	コメント
脱毛機の調整	脱毛機を処理中のトリのサイズに合わせ、正しく調整する
鶏群の斉一性の改善	これは多くの管理分野が関係する、例えば 育雛、飼料品質、収容密度、換気管理、給餌・給水器管理等
適正な湯漬け温度と時間	推奨湯漬け温度は 55～57℃ 推奨湯漬け時間は 60～120 秒

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
骨折



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
骨折

原因：肥育中、捕鳥時、輸送中の外傷、あるいは処理時の不適正な取り扱い、不適正なスタンニング設定及び、と殺後の外傷

解決策	コメント
捕鳥、処理時のトリの扱いに注意する	<p>捕鳥、処理時、すべてのウェルフェアのガイドラインに従う</p> <p>すべての捕鳥、処理作業者は十分に訓練を受ける</p> <p>自動捕鳥機は正常に作動させるため、正しく調整する</p>
適正なスタンニング設定	<p>使用するすべての機器は正しく調整する</p> <p>使用する機器について、メーカーの推奨と国の規制に従う</p> <p>処理中、スタナー設定を定期的にチェックする</p>
脱毛機の調整	<p>脱毛機を処理中のトリのサイズに合わせ、正しく調整する</p>

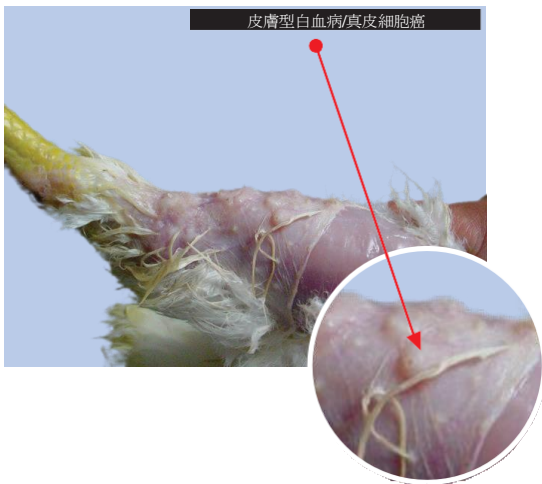
ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
打ち身/赤い手羽先



ブロイラー屠体の判別 と 格外コントロール:  
打ち身/赤い手羽先

原因：飼育中、捕鳥時、輸送時あるいは処理時の取扱いによる 損傷、不適正なスタンニング設定、不十分な放血時間	
解決策	コメント
捕鳥、処理時トリの扱いに注意 する	<p>捕鳥、処理時、すべてのウエル フェアのガイドラインに従う</p> <p>全ての捕鳥、処理作業者は十分 に訓練を受ける</p> <p>自動捕鳥機は正常に作動させる ため、正しく調整する</p>
適正なスタンニング設定	<p>適正なスタンニング設定をする ようにメーカーの機械に関する 推奨と、国の規制に従う</p> <p>処理中、定期的に設定をチェック する</p>
放血時間を延ばす	<p>次の処理工程に進む前に、トリの 放血が終わるまで十分な時間が とれるように処理ラインの スピードを調節する</p>

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
皮膚型白血病/真皮細胞癌





ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
皮膚型白血病/真皮細胞癌

原因：ウイルスの感染（すべてではないが、ほとんど、皮膚型白血病はマレック病ウイルスにより起こる）

解決策	コメント
ワクチネーション	<p>地域の病気の危険度と環境に応じて、適正なワクチンプログラムを遂行する</p> <p>（信頼できる獣医師と協議）</p> <p>孵化場で適正なワクチン接種手順に従う</p>
十分な空舎期間の確保 衛生改善	<p>鶏群飼育中と空舎期間中両方とも、バイオセキュリティ及び衛生手順に従う</p>

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
脚廃棄



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
脚廃棄

原因：レオウイルス感染、細菌由来（ストレス、悪い農場衛生、免疫抑制疾病）、大きすぎるトリの管理

解決策	コメント
病気/感染のコントロール	地域の病気の危険度と環境に応じて、適正なワクチンプログラムを遂行する（信頼できる獣医師と協議）
農場のバイオセキュリティと衛生管理の改善	厳格なバイオセキュリティと衛生手順に従い、飼育中と空舎期間中の両方をモニターする
管理方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推奨収容密度を守る</li> <li>・ 鶏群の斉一性を良くする</li> <li>・ 適切なトリの取り扱いと捕鳥手順を守る</li> <li>・ トリの体重に適したサイズのシャックルを使用する</li> </ul>	厳格なウェルフェアと衛生のガイドラインを含む、すべてのガイドラインと推奨方法に従っているか、今行っている管理方法を再検証する。脚廃棄は重いトリ（3kg/6.6lb以上）で多い傾向がある
適度なトリの活動を維持する	光線プログラム使用時、実際の夜明けと夕暮れに似せるように調光する トリが良く活動するように、照度はトリの週齢に応じて適正なレベルにする 推奨照度の使用：7日齢以降 5～10ルクス
捕鳥作業中、トリを平静に保つ	トリの過度な行動を抑えるため捕鳥中は照度を下げ、捕鳥作業者の十分な訓練をする

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:

敗血症/中毒（感染、中毒、疾病、脱水症状、あるいは集団より明らかに小さいトリ）

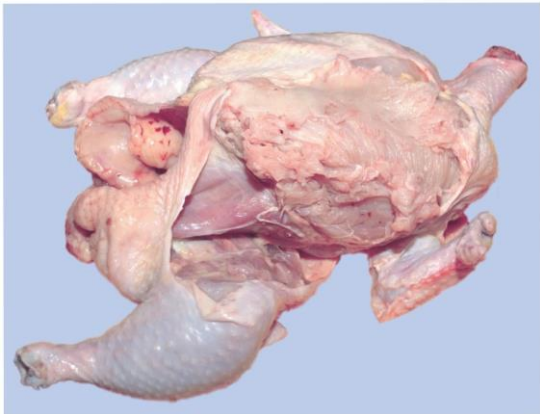


ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:

敗血症/中毒（感染、中毒、疾病、脱水症状、あるいは集団より明らかに小さいトリ）

原因：感染症、栄養不良、発育不良、免疫抑制疾病	
解決策	コメント
病気と感染のコントロール	地域の病気の危険度と環境に応じて、適正なワクチンプログラムを遂行する（信頼できる獣医師と協議）  鶏群飼育中と空舎期間中両方とも、バイオセキュリティ及び 衛生手順に従う
栄養成分の改善/調整	推奨ブロイラー栄養成分に従う 正しい成分になっているか、飼料サンプルを分析する
管理方法	厳格なウェルフェアと衛生ガイドラインを含む、すべてのガイドラインと推奨方法に従っているか、今行っている管理方法を再検証する。

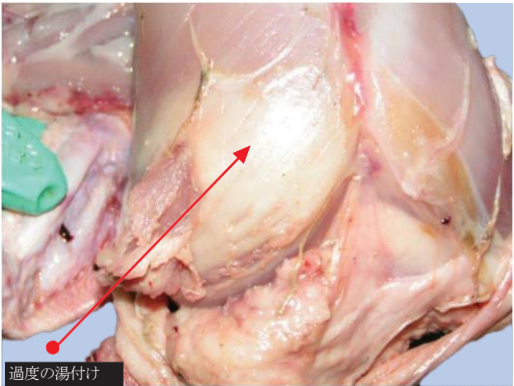
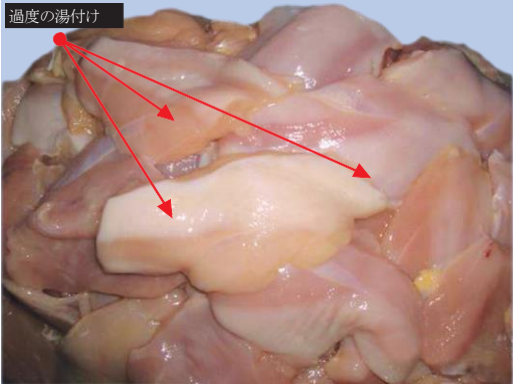
ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール::  
機械による損傷



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
機械による損傷

原因：中抜き機の調整不良	
解決策	コメント
中抜き機の調整	中抜き機を処理されるトリのサイズと、必要とする肉のカットサイズに正しく調整する 全てのラインスピードと設備は中抜き工程と同調させる
スタッフのトレーニング	全ての中抜きエリア作業スタッフは、よく訓練されていなければならない

ブロイラー屠体 の判別 と 格 外 コ ン ト ロール:  
過 度 の 湯 付 け





ブロイラー屠体 の判別 と 格 外 コ ン ト ロール:  
過 度 の 湯 付 け

原因：湯漬け槽内での高温あるいは浸漬時間の長すぎ	
解決策	コメント
湯付け槽の温度を下げる	推奨温度は 55～57℃
湯付け時間の短縮	推奨時間は 60～120 秒

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
放血不良



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
放血不良

原因：ネックカットの不備、不適切な放血時間

解決策	コメント
放血時間の延長	次工程に進む前に適正な放血時間（60-120 秒）となるように処理ラインスピードを調整する
自動カット機（ACM）の調整	処理するトリのサイズに合わせて ACM を適正に調整し、定期的にモニターする
鶏群の斉一性の改善	同じサイズと重さのトリが処理されるよう効率的に計画する 処理時の斉一性が改善されるように、農場の管理方法を改善する

ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
胆汁/糞便汚染



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
胆汁/糞便汚染

原因：不適切な機械調整/中抜き作業する人の技術が悪い、 不適切な餌切り時間	
解決策	コメント
正確な機械調整	<p>中抜き機はトリのサイズと重量に合わせる</p> <p>使用する機械に関するメーカーの推奨ガイドラインに従い、頻回モニターする</p>
作業者に十分なトレーニングを 施す	すべてのスタッフは中抜き技術について適正に訓練されていなければならない
処理前の適正な餌切り時間を守る	<p>トリは消化管内を空にするため 処理前8～12時間の餌切りを すべきである</p> <p>餌切り時間＝ 鶏舎での餌切り時間＋捕鳥時間＋ 輸送時間＋生鳥置き場保管時間</p>

ブロイラー屠体の判別 と 格外コントロール:  
かさぶた



ブロイラー屠体の判別 と格外コントロール:  
かさぶた

原因：高収容密度、不適切な給餌/給水器管理、トリの過度の行動、不適切な光線管理

解決策	コメント
トリの過度の活動を避ける	<p>光線プログラム使用時、実際の夜明けと夕暮れに似せるように調光する</p> <p>推奨照度を使用する：7日齢以降 5～10ルクス</p> <p>捕鳥時、巡回時、体測時にトリを扱うスタッフの適切な訓練を実施する</p>
密飼を避ける	国の法律のガイドラインに従う
適正な給餌・飲水スペースを守る	<p>直径 40 センチのラウンドドリンカー1 個当たり 125 羽、1 ニップル当たり 10～12 羽（重いブロイラーでは羽数を少なめに）</p> <p>パンフィーダー当たり 45～80 羽、給餌チェーン/オーガ羽当たり 2.5cm、チューブフィーダー38cm につき 70 羽</p>
トリはいつでも給餌器にアクセスできるようにする	決して給餌器が空でまわらないよう適切な給餌管理をする

株式会社日本チャンキー  
〒700-0984

岡山市北区桑田町1番30号 岡山県農業共済会館5階

Tel:086-803-3660

Fax:086-803-3665

ホームページアドレス <http://www.chunky.co.jp>



この情報の正確性と妥当性を得るためにあらゆる試みが成されております

さらに詳しい情報については、日本チャンキー担当スタッフにお尋ね下さい

Newbridge Midlothian,  
EH28 8SZ Scotland,  
UK

t. +44 (0) 131 333 1056  
f. +44 (0) 131 333 3296  
[info@aviagen.com](mailto:info@aviagen.com)

Cummings Research Park  
5015 Bradford Drive  
Huntsville, Alabama 35805, USA

t. +1 256 890 3800  
f. +1 256 890 3919  
[info@aviagen.com](mailto:info@aviagen.com)

[www.aviagen.com](http://www.aviagen.com)